

乗鞍岳平湯道

2014.9.26 晴れ N氏と

週末にかけて好天が続くそう。8～9月の不順な天候で延期した登山計画が幾つかあるので、何処に行くか悩む。10/1からは剣岳・早月尾根のハード山行が控えているし。笠ヶ岳クリア谷？ 宇奈月温泉から僧ヶ岳～駒ヶ岳の日帰り？クリア谷は増水時は無理、通過した台風で増水したかも。僧ヶ岳は林道が登山口手前で復旧工事の為通行止めの模様、来年は登山口まで復旧するか。

25日はアレコレ悩んだが夜になってヤット無難な「乗鞍岳・平湯道」に決める。N氏を誘うと2つ返事でOK。紅葉も始まっているかも、写真好きの彼も喜びそう。本来なら平湯温泉から乗鞍岳に登るのが「登山」だと思うが、膝・腰痛の後遺症を残したく無いので邪道かも知れないが、楽な逆の「下山コース」にする。乗鞍岳畳平バスターミナルの標高は2710Mある。下山する平湯温泉の標高は1302M、標高差1400Mです。

自宅 5:00 に合流～6:25 平湯バスターミナル発 6:40～(バス) 7:40
畳平バス停 7:50～8:20 桔梗ヶ原下山口 8:25～11:30 乗鞍権現(昼)
11:50～14:00 平湯温泉スキー場上部～15:00 平湯温泉ひらゆの森 P
(入浴) 16:05～17:50 帰宅。

台風一過で好天になりそう。Nさんとは久しぶりの登山。平湯温泉に早く着き、予定より1本(1時間)早いバスに乗車できた。乗客は8人ほど、マイカー規

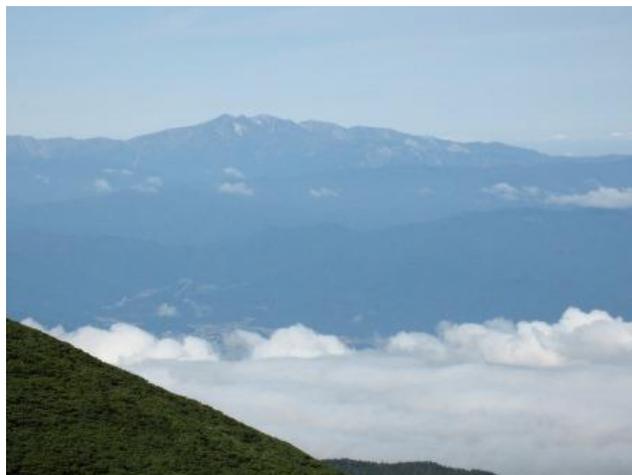
制の乗鞍岳の麓の畳平めざして登る。恐らく日本最高所のバス停だと思ったら、長野県側の乗鞍畳平が 2716Mで一番との事。

乗鞍岳畳平



右から前穂、吊り尾根、奥穂、西穂、槍ヶ岳。
その手前の尾根を下ります

白山です



槍～穂高を眺めながら右の尾根を下ります。
帽子の上は焼岳です



前穂・吊り尾根・奥穂ジャンダルム・
西穂・槍ヶ岳。手前左は焼岳

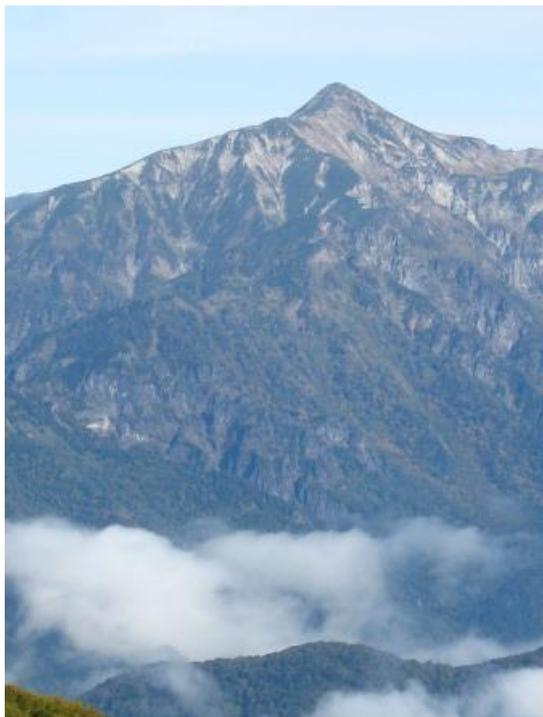


西鎌尾根～笠ヶ岳の展望。
右下は焼岳



途中段々青空になって来て、車窓からは穂高連峰・笠ヶ岳・先日登った黒部五郎岳・白山などの大展望が望める。Nさんは早くもシャッターを切っている。此処の所高温が続き、バスから下車してもYシャツで寒く無い。予想通り、乗鞍岳方面に背を向けて反対方向に歩き出したのは我々だけ。

近いうちに歩く、笠ヶ岳とクリア谷コース



展望が素晴らしいので、舗装道路 2KMの歩きも全く苦にならない。9/4 の西穂高岳登山が天候に恵まれず眺望ゼロだったので、矢張り登山は天気の良い時に限る。桔梗ヶ原から硫黄岳（2554M）を目指して歩く。平湯温泉から平湯大滝を經由したこの道は明治時代にウオルター・ウエストンも乗鞍岳登山に使った歴史あるルートであったが、猿飛八丁

の険と呼ばれる難所が崩落して通行不可能になったため、クラシックルートは閉鎖され、平湯温泉スキー場から尾根沿いに登り、乗鞍スカイラインに合流する新登山道が2005年に新設されたとの事です。歩く人が少ないせいか、登山道は狭い道が続きますが踏み跡はハッキリしていますし、夏はコマクサなど貴重な高山植物が豊富のようです。夏に姫ヶ原（乗鞍岳でも一二を争う高山植物の宝庫との事です）まで往復する花見と穂高連峰～槍ヶ岳～西鎌尾根～笠ヶ

岳の大展望のトレッキングもお奨めと感じました。(イヤ、他人に薦めるより
又来たい、但し晴れの日限定で) 遠く南アルプス・八ヶ岳連峰も望める本当に
展望の良いお奨めのコースです。アップダウンがあるが気持ちの良い歩きが続
きます。途中でコケモモの実を採る、コケモモ酒を作るために。焼岳も見えて
来ました、先日泊まった西穂山荘も。双眼鏡とニコンのカメラを持参しなかつ
た事を悔やむ、最近反省の連続だ。何故か高度を下げた付近で紅葉が綺麗に
なる。ダケカンバの黄色とナナカマドの赤、ハイマツの緑が調和して山岳風景
にマッチしている。

紅葉と穂高連峰



紅葉の登山道



眼下に目指す平湯温泉街も見える。廃道になった崩落地には、モリブデンを採
掘した鉱山跡らしき所も見える。チョット湿っぽい所を過ぎたら乗鞍権現に到
着する。昼食休憩、祠があり、金山岩を経て十石山 (2524.8M、白骨温泉から
も登山道があり、山頂直下に立派な避難小屋がある。私も歩きましたがお奨め
です)への道標もあったが、尾根道が崩落しているようで、登山道は薄かった。

又「平湯へ 6.3KM」の表示もありました。(我々の行程は 11.6KMです、ここが半分) 乗鞍岳が変わった感じで望めます。予想に反して雲が少し出て来ました。此処からの登山道は刈り払いがされて巾広くなり、腐葉土の膝に優しい土の道になりました、でも急坂が多いです。

乗鞍権現



左上は乗鞍岳



樹林帯で展望がなくなります。視界が開けてスキー場の旧上部ゲレンデ（今は閉鎖されているようだ）に到着。3.3KMのゲレンデ歩きは動物の糞が沢山あって足元に注意しながら下る。登山口の「あんき屋」に着く。

平湯温泉スキー場へ下山



ゲレンデや平湯大滝見物の入り口でもある。今日は下り中心なのに疲労感があるし、膝の調子も良く無い。N氏は77歳、登りで少し息が上がるよう

だが、下りはシッカリしていて、膝痛も無く疲労感もそれほど無いと言う。

平湯温泉到着、標高差 1400Mでした



お元気な方だ。勿論お気に入りの「ひらゆの森」（但し、今日は刺青がいて不快感）でユックリ入浴し予定より 2 時間以上早い帰宅。

赤沼健治